



Title	Gallia 64号 あとがき/奥付
Author(s)	
Citation	Gallia. 2025, 64
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/102172
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

あとがき

今年度も引き続き海外から多くの研究者が来訪されました。2024年4月にはリュシー・クレール先生によるマルク＝アントワーヌ・ミュレとロンサールに関する講演会、9月には「バスカル生誕401周年」としてロラン・シュジニ先生、アンヌ・レジャン＝シュジニ先生、アラン・カンチオン先生によるシンポジウム、さらに10月にはイザベル・ド・ヴァンドゥーブル先生によるブルーストとヘンリー・ジェイムズに関する講演会を開催いたしました。いずれも大変豊かな内容のご講演となりました。シンポジウムに基づく三論文は今号に掲載しておりますので、どうぞご一読ください。

またフランス文学を縁としながらも、その枠組みをこえる素晴らしいイベントも多く開催されました。6月の上田久美子氏（脚本家・演出家）による講演会では、ご自身のお仕事やフランスとの関りについて大変興味深いお話を伺いました。10月にはアヴォカ先生のご友人でもあるドミニク・ラルドノワ氏（舞台演出家・俳優）によりサンドラール『シベリア横断鉄道』を基とした朗説会が行われ、圧巻のパフォーマンスが披露されました。さらに11月には昨年に引き続き青柳いづみこ氏（ピアニスト・文筆家）によるレクチャーコンサート（「ドビュッシーとサティ」）が開催され、誤解の多い二人の関係性が見事に解きほぐされました。今年度も引き続き演劇、音楽など、ジャンルを越える横断的な視点からの研究、催しの意義を感じた次第です。

今号は特に投稿論文が多く、昨年度の約二倍、18本の力作論文と先述の3本の講演録、シンポジウム記録、また初の試みである1本の書評を掲載することができました。執筆者の皆様、論文査読委員各位、そして学生編集委員諸君に心より感謝申し上げます。来年度も会員のみなさまのご寄稿をお待ちいたしております。また末筆となりましたが、みなさまのご健勝を祈念いたします。

(平光 文乃)

GALLIA LXIV

2025年2月25日印刷・3月1日発行

編集発行者

大阪大学フランス語フランス文学会

代表者 山 上 浩 嗣

〒560-8532 豊中市待兼山町1番5号

大阪大学人文学研究科・文学部フランス文学研究室内

tel. & fax : 06-6850-5117

e-mail : 1953gallia@gmail.com

URL : <http://www.gallia.jp/wordpress/>

表紙デザイン 辻村紀子